

マレーシア・サンウェイ大学(Sunway University)におけるバイオサイエンスgPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2026年02月23日 ～2026年03月03日	マレーシア	サンウェイ大学	・生命科学科 ・学部2年生、学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生15名、学生バイト1名、 教員2名 (サンウェイ大学) 学生30名、教員6名	アズハム スルカルナイン (生命科学課程生命科学コース)、 廣田 佳久(生命科学課程生命科学コース)



図1 地元市場の様子

本プログラムは芝浦工業大学(SIT)生命科学科およびマレーシアのサンウェイ大学・医療生命科学部との間で実施された。サンウェイ大学とのgPBLプログラムの実施は今回が初めての試みとなった。今年度、参加者が探求したテーマは、(a) 地元市場における生鮮食品の微生物評価、および (b) 食品の抗酸化測定の2テーマだった。プログラムの科学的アクティビティの一環として、参加者は近隣の地元市場を訪れ、評価用の新鮮な海産物サンプルを手に入れた。実験室では、それらのサンプルを用いて細菌数の測定および菌種の同定を行った。参加者は、さまざまな生化学的検査や顕微鏡観察に取り組み。本プログラムを通じて、参加者は食品衛生を評価するための科学的手法とその実践的な応用について学んだだけでなく、多様な文化や言語を持つ仲間との交流を深めることができた。



図2 実験アクティビティ



図3 文化的パフォーマンス



図4 集合写真